

知的障害特別支援学校 小学部第3・4学年 体育科 学習指導案

[全体計画]

日 時	平成*年*月*日（*） 11：25 ～12：10	場所	体育館
指導者	T1〇〇, T2〇〇, T3〇〇, T4〇〇		
単元名	「なげっこランドであそぼう」		
単元 設定の理由	<p>本学習は、3年生3名（男1・女2）、4年生4名（男3・女1）の計7名で構成されている。遊びをとおした授業によって、身体を動かすことへの苦手意識も減り、進んで運動に取り組むようになった。また、体づくり運動や器械運動の授業をとおして膝や足首などの関節の曲げ伸ばしがスムーズに行えるようになった。</p> <p>これまでボールを使った運動として、ボウリングや的当て、友達同士のキャッチボールを行ってきた。どの児童も目標物を狙ってボールを転がしたり、投げたりすることはできるが、下投げや横投げでボールを投げる児童が多く見られた。また、目標物とは別の方向にボールが行ってしまったり、強くボールを投げることができず、遠くにボールが届かなかったりすることが多い。上投げの際も、手首や肘を上手く使って投げるのが難しいことから、距離が伸びなかつたり、力の入れすぎで地面に向かって投げたってしまうことが多い。以上のことから、上投げが課題に挙げられる。</p> <p>そこで本単元では、上投げを取り上げ単元を構成した。紙鉄砲を使った腕振りの練習やオノマトペを表しながら体の使い方をイメージしやすくするなど遊びの要素を取り入れながら楽しく体を動かし、投げ方で重要である「手首や肘の正しい使い方」や「体の向き」、「重心の移動」を取得することをねらいとした。本単元に関連する特別支援学校学習指導要領小学部体育科の指導内容として2段階「Eボールを使った運動やゲーム」がある。</p> <p>指導にあたっては、活動の中で投げることへの楽しさや面白さなどが感じられるようにするため、ボールを投げて的に当てることで倒れたり、落ちたりするなど、視覚的にも楽しめる工夫をしたり、友達と力を合わせて様々な的や大きい的を倒すことで協力することを感じられるようにしたりした。技能面では、準備運動後にボールを床に強くたたきつける運動やタオル振りなどを行い手首や肘、肩などの使い方やボールを離すタイミングなどを身に付けられるようにした。今回使用するボールはテニスボールや玉入れの玉など、手でにぎれる大きさのものにすることで、上投げで投げやすいようにした。上投げで投げると地面に向かって投げたしまうことが考えられるので、当てる的は児童たちの目線より上に設定し、ボールを投げる角度を身に付けられるようにした。また、将来的にチームスポーツとしてボール運動を行えるよう、導入として友達同士で協力し合う場面を多く設定し、仲間と一緒に達成する喜びを味わうことができるようにした。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上投げで狙った場所にボールを当てることができる。 （知識及び技能） ・ねらう箇所によって、投げる位置や角度を考えてボールを投げることができる。 （思考力・判断力・表現力等） ・簡単なきまりを守り、友達と一緒に力を合わせて活動することができる。 （学びに向かう力・人間性等） 		
指導計画 (14時間扱い) 本時は4時	<p>第1次 ボールをたくさん投げよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間</p> <p>第2次 なげっこランドで遊ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11時間（本時）</p> <p>第3次 記録をとろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間</p>		

[本時の指導]

1 全体目標

- ・上投げの投げ方が分かりで1m～3m離れた場所からの的にボールを当てることができる。（知識及び技能）

2 児童の実態及び個別目標等 ※自立活動に関することは、番号をつける。(例：<1-(1)>)

【評価基準】◎：できる ○：一部できる △：支援が必要

担当児童 学年 性別	児童の実態			個別目標	主な指導場面 評価方法
	狙った所にボールを当てること	狙う箇所によって、投げる位置や角度を考えて投げること	進んで活動に取り組むこと		
A	△ 両手で頭越しに狙った所へ、ボールを投げる事ができる。	△ 補助を受けて、投げる位置を変えることができる。	△ 動きを見て、同じように活動することができる。	・片手でボールを投げ、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)
B	△ 横投げや下投げで狙った所に当てる事ができる。	○ 言葉かけを頼りに、投げる位置や、角度を変えて投げる事ができる。	○ 活動内容を理解することで、自分から活動に取り組む事ができる。	・上投げで、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)
C	△ 下投げで狙った所にボールを当てる事ができる。	△ 補助を受けて、投げる位置や角度を変える事ができる	○ 活動内容を理解することで、自分から活動に取り組む事ができる。	・上投げで、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)
D	△ 片手で頭越しにボールを投げ、狙った所に投げる事ができる。	△ 言葉かけや補助具を頼りに、投げる位置や角度を変える事ができる	○ 周りの楽しい様子を見て、自分から活動に取り組む事ができる。	・上投げで、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)
E	○ 上投げで狙った場所にボールを投げる事ができる。	◎	◎	・重心移動をしながら上投げで、3m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)
F	△ 片手で頭越しにボールを投げ、狙った所に投げる事ができる	△ 投げる位置を変える事ができる	◎	・利き手と反対側の足を前に出し上投げで、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。 <5-(1)>	5 (観察)
G	△ 両手で頭越しに狙った所へ、ボールを投げる事ができる。	△ 補助を受けて、投げる位置を変える事ができる。	△ 動きを見て、同じように活動することができる。	・片手でボールを投げ、2m程度離れた的にボールを当てる事ができる。	5 (観察)

3 児童の自立活動の目標 (個別の指導計画より)

児童名	目 標
A	○自分がやってほしいことを教師に「○○やってください。」と伝える事ができる。【6-(1)】 ○やりたい活動を選び、友達と一緒に準備物を運んだり、用意したりすることができる。【3-(4)】

B	○朝の会の出席確認で、友達の顔を見て名前を呼び、相手の返事を聞くことができる。【3－(1)】 ○自分がやるべき次の活動に気持ちを切り替えて取り組むことができる。【4－(1)】
C	○休み時間や授業の初めに、友達の様子や周りの状況を見て、次の活動に気持ちを切り替えることができる。【4－(1)】 ○ゲームの中で友達にやってもらいたいことやほしいものを伝えることができる。【6－(1)】
D	○的当てやボウリングなどのゲームで、順番を守って友達と一緒にゲームに参加することができる。【3－(1)】 ○友達に「貸してください」と言葉で伝えることができる。【6－(1)】
E	○他のクラスの友達や教師に自分から挨拶をすることができる。【6－(1)】 ○宝探しゲームで、友達に優しい口調でヒントを出すことができる。【3－(2)】
F	○間違い探しでは、2つのイラストから色や形などの違いを1つ見つけることができる。【4－(1)】 ○宝探しゲームでは、友達に隠した場所の写真カードを使ってヒントを提示することができる。【3－(1)】
G	○挨拶をした教師や友達に挨拶を返すことができる。【6－(1)】 ○ゲームをとおし、順番が分かたり、してほしいことを言葉で伝えたりすることができる。【3－(1)】

4 展開

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容	指導の手立て (各 T の役割等)
全 (2)	1 集合整列し挨拶をする。 (1) 学年ごとに整列する。 (2) 始めの挨拶をする。	・児童がどこに整列すればよいか分かるように、赤と緑のコーンを整列する場所に置いておく。
全 (3)	2 ラジオ体操をする。	・T1は動かしたり伸ばしたりする部分分かるようポイントを伝えながら模範を見せる。
全 (2)	3 本時の学習と目標について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なげっこランドであそぼう</div> ① ラジオたいそう ② なげるれんしゅうをしよう ③ おばけたいじをしよう ④ ふりかえり ⑤ かたづけ	< 5－(1) > ・目標やきまりを守って活動できるように、ホワイトボードに全体での目標と個人目標を提示する。 < 2－(2) > ・学習に見通しをもって取り組むことができるように、T1はホワイトボードに学習の流れや目標を提示する。 < 2－(2) >
全 (5)	4 投げる練習をする。 ・紙鉄砲	・紙鉄砲では、手首や腕を使って強く振り降ろせるように、紙鉄砲の音が大きく出るよう伝える。 ・E, Fには、重心移動をして投げるのがイメージできるように、振り降ろす際に「足上げて～シュ！」とオノマトペで表す。
全 (23)	5 「おばけたいじ」をする。 (1) ペガボール (1分間×2) [ひょっこりお化け退治] ・お化けに扮した T2 に向かってボールを投げる。 (2) 的当て (3種類)	・下投げや横投げでボールを投げている児童には上投げで投げるとよく狙えることや強くボールを投げられることを伝える。 ・正しい角度で投げられるよう、お化けの顔や胸の部分に向かって投げるように指示をする。 ・児童 B, E, Fには、後ろに引いて前方に投げることがイメージできるように、投げるときに、「ギュっと引いてシュ！」とオノマトペで表す。

〔パネルお化け・まんまるお化け・べろべろお化け・かみお化け退治〕

- ・児童全員で様々な的にボールを投げ、的に当てる。
- ・全部の的に倒したら終了とする。その後ボールをカゴに戻す。

(3) 上投げの投げ方の確認をする。

(4) 大きい的に当て〔かべお化け退治〕

- ・児童全員で一つの大きな的にボールを当てる。
- ・的に倒れたら終了とする。

- ・児童A, C, D, Gには、片手でボールを投げるのに挑戦できるように、狙う的の距離を短くする。
- ・身体が正面を向いて投げってしまう児童には、足形を用意し、教師が後ろからボールを渡し振り返り投げで的に当てを行う。
- ・強いボールを投げられるように、今日の練習でやったことを思い出して取り組むよう伝え、1球ずつT2に投げて確認する。
- ・狙いを定めてボールを投げることができるように、狙う箇所を赤で色付けする。
- ・効果音で達成感が味わえるよう、的に倒れるタイミングでT1が操作をする。

- ・片手でボールを投げ、2m程度離れた的にボールを当てることができる。 【A・G】
- ・上投げで、2m程度離れた的にボールを当てることできる。 【B・C・D】
- ・重心移動をしながら上投げで、3m程度離れた的にボール当てることできる。 【E】
- ・重心移動をしながら上投げで、2m程度離れた的にボール当てることできる。 【F】

全 6 振り返りと次回の内容を確認する。
(5) ・良く投げることができた児童が発表をする。

全 7 終わりの挨拶をする。
(3)

全 8 片付けをする。
(2)

・活動内容の振り返りや強く投げられるためにどうすればよいかを確認する。

・安全に注意しながら使ったものを体育倉庫に戻すことができるよう、教師と必ず一緒に片付けることを約束する。

【板書計画】

なげっこランドであそぼう

- ① ラジオたいそう
- ② なげるれんしゅうをしよう
- ③ おばけたいじをしよう
- ④ ふりかえり
- ⑤ かたづけ

おばけずかん

<p>ひょっこりお化け</p> <p>あめをあてたおそう!!</p>	<p>パネルお化け</p> <p>ぜんぶのおばけにボールをあてよう</p>	<p>ペロペロお化けとまんまるお化け</p> <p>なかなかなおれおれいよつよくボールをあてよう</p>	<p>かみお化け</p> <p>うえにいるよよーくおらって!</p>	<p>かべお化け</p> <p>みんなでちからをあわせておそう</p>
------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

【場の設定】

